



インスピレーションになろう

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2018-2019年度 ガバナー 福田金治

2019.5 / vol. 11

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所

〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F

TEL: 0956-37-2740 FAX: 0956-37-2741

E-mail: ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp



米山記念奨学生修了式 (2019年3月3日 佐賀市)

ガバナー ロータリー情報

クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) についての説明

クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) とは、国際ロータリーが採用したクラブ運営の新しい方法です。今のところ、クラブ定款のように採用が義務付けられておりませんので、採用するかどうかは各クラブの理事会で決められて良いのです。

ここで、クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) 導入の経過を説明します。

(1) CLPは2004年11月のRI理事会で、クラブ管理の枠組みとして正式に承認されました。

(2) 2007年の手続要覧に、クラブ委員会としてCLPで採用された「クラブ管理運営」「会員増強」「クラブ広報(公共イメージ)」「奉仕プロジェクト」「ロータリー財団」の五つの常任委員会を作るべきであるとの文面が記載されています。

さらに、2007年の推奨ロータリークラブ細則にも、上記の五つの委員会を常任委員会として作るべきであるという文面が記載されています。

(3) RIは、2008年以降は、「クラブ委員長の手引き」としては、CLPで採用されている「クラブ管理運営」「会員増強」「クラブ広報(公共イメージ)」「奉仕プロジェクト」「ロータリー財団」という名称の手引きしか作成していません。

(4) 2016年の標準ロータリークラブ定款から、クラブ委員会として「クラブ管理運営」「会員増強」「公共イメ

ージ」「奉仕プロジェクト」「ロータリー財団」の五つの委員会を有すべきであるという文面が記載されました。

「有すべき」の英文は「should」で、日本語訳では「任意」となるので、現在のところ、五つの委員会を設置することは義務ではありません。

標準ロータリークラブ定款第3条クラブの目的に、本クラブの目的は、・・・五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施し、・・・という記載があり、第6条五大奉仕部門には、「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」「青少年奉仕」が五大奉仕部門であるという記述があります。

CLPが採用される以前は、五大奉仕部門に基づいて、ロータリー活動を実際に行う五つの委員会の名称が、五大奉仕部門と同じでした。しかしCLP採用後は五つの委員会の名称が「クラブ管理運営」「会員増強」「公共イメージ」「ロータリー財団」「奉仕プロジェクト」に替りました。

CLPについて、これまでいろいろ説明させていただきましたが、この新しいクラブ運営の方法が打ち出された理由は、ひと言で言えば、クラブ運営方法があまりに肥大化して、会員数の少ないクラブにとって、クラブを運営していくことが困難になったからだと思います。

クラブ運営を簡素化するために、「委員会は最低五つの委員会だけで良い」「クラブの運営についても、各クラブ独自で決めて良い」となっています。

さらに2016年の手続要覧の改正で、それまで変えることが出来なかった標準ロータリークラブ定款の内容を、クラブ細則の意向で変更できるようになりました。

現時点では五つの委員会を採用することは義務ではありませんので、クラブの委員会をCLPに合わせるか合わせないかは、クラブで決められて良いと思います。

CONTENTS

- 地区チーム研修セミナー報告 2
- 米山記念奨学生修了式・歓送会 2
- ハワイ短期留学プログラム 第2回オリエンテーション&懇談会 ... 3
- 会長エレクト・次期幹事研修セミナー報告 ... 3
- IM開催報告 4
- ガバナーノミニ・デジグネート決定のお知らせ ... 6
- 逝去会員、新会員紹介、寄付者紹介 7
- ロータリー国際大会のご案内 8

地区チーム研修セミナー報告

2019-20年度地区幹事 大石 竜基 (諫早北RC)

去る2月17日(日)、L&Lホテルセンリユウにて「2019～2020年度 地区チーム研修セミナー」が開催され、当日はまさに、千葉憲哉ガバナーエレクトにとってデビュー戦となりました。

セミナーに先だち、福田ガバナーより千葉エレクトに対し温かいエールが送られ、本人はもとより、地区役員にも緊張感が高まってきました。その後、千葉エレクトによるガバナー補佐、各委員長への委嘱状の交付が執り行われた後、2019～2020年度RI会長マーク・ダニエル・マローニーさんの紹介を含め、次年度のRI方針と地区運営方針を千葉エレクトが発表いたしました。

続いて、地区研修リーダーの駒井直前ガバナーによる研修セミナー「時代の変化に伴うリーダーの役割」の講演をいただき、千葉エレクトをはじめとする地区チームのメンバーは、来たるべき次年度に思いをはせ、決意を新たにいたしました。

2時間半のセミナー終了後は、参加者全員で福田ガバナー、千葉エレクトを囲み懇親会が催され、和やかな中にもロータリー談議に花が咲いていました。



米山記念奨学生 修了式・歓送会

米山記念奨学委員長 大家 和義 (小城RC)

国際ロータリー第2740地区の本年度の米山奨学生の「修了式・歓送会」は、2019年(平成31年)3月3日(日)に、ホテル「グランデはがくれ」にて開催されました。当初の全奨学生16名の内、継続者を含む14名が参加をしました。16名中、修了対象者は13名でしたが、11名が今年度の修了式に参加し、就職・進学・帰国などの進路をとり、いろいろな世界へ羽ばたいて行きます。残念ながら欠席した2名のうち1名は学会発表のため、もう1名は入院中の為に今回の「修了式・歓送会」に参加できない残念な状態で、「おめでとう!」の一声がかけられませんでした。早く、元気になって欲しいと思っています。

地区委員長として一年間、奨学生+カウンセラーの皆さんのバックアップと、充分にお世話できたものと思いつつ、楽しくお供をさせていただきました。世界と日本・2740地区の地域の持続的発展と平和に向けて、修了していく米山記念奨学生に日本のロータリアンの思いを一つでも、プレゼントできていれば幸いかと思って送り出します。

当日は、午後2:00に米山奨学生と一緒に集合し、会場の設営と受付・席順名札の準備等、最後の共同作業をし、「修了式・歓送会」を迎えました。

午後3:30より、本村委員の司会・進行のもと、永田委員の開式の辞にて始まり、国歌・ロータリーソング「奉仕の理想」を斉唱し、本日の出席者の紹介を芦塚委員が行い、今回は米山奨学生のバングラディッシュのマハムド アル君の奥さんとご子息、中国のリョウウンエイさんの夫で学友会のジョーカイホウ君が参加してくれました。

福田金治ガバナーより「お祝いの言葉」をいただき、奨学生へ修了証の贈呈を駒井米山記念奨学会理事にお願いし、一人一人に激励の言葉を掛けて頂きました。

続いて、カウンセラーへの感謝状の贈呈を、宮崎米山記念奨学会評議員にお願いし、お礼の言葉を掛けていただきました。

次に、大家地区委員長より挨拶があり、「修了式」を無事に迎えることができたお礼を全ての方々に申し上げ、続いて2740地区の学友会長 趙コウエンさんより、学友会の活動・入会説明があり、終了して世界に羽ばたいてから付き合いが始まることを伝えられました。最後に、全員で記念写真を撮影し、「修了式」を終えました。

続いて、第二部の「歓送会」を本多委員の司会により始め、花鳥ガバナーノミニの挨拶・乾杯の発声により歓談を開始しました。しばらくしてから、奨学生とカウンセラーの二人での最後の共同作業で、一年・二年間の思い出のスピーチを壇上に発表していただき、感謝、笑い、涙の思い出を披露していただきました。

まとめとして、贈る言葉を音成ガバナー補佐にお願いし、閉式の辞を松田委員が行い、無事に終了しました。

旅立つ米山記念奨学生13名のこれからの世界が楽しみです。



修了証・感謝状贈呈





ハワイ短期留学プログラム 第2回オリエンテーション&懇親会

ハワイ短期留学委員会 副委員長 安部 雅隆

出発の日を2週間後に控えた3月11日(月)、参加する高校生14名に対して、第2回オリエンテーションおよび懇親会を実施いたしました。今回は福田ガバナーや橘高地区大会実行委員長も同席し、オリエンテーションの冒頭で激励の挨拶をいたしました。また、オリエンテーションの内容としては、具体的スケジュールを提示した他、保険や費用など諸手続きに関する事項を中心に説明がなされました。30分程のオリエンテーションの後、会場を移して参加者同士の親睦を深める目的で懇親会を開催しました。

古賀佐世保RC会長の乾杯の挨拶で会が始まった直後、池田委員長より滞在中の部屋割が発表され、参加者からは突然の発表に驚きの声と歓声上がるなど、開始から大きな盛り上がりを見せました。また、会の中盤では個々の参加者から本プログラムへの抱負やハワイでやってみたいことなどを発表する時間が設けられ、参加者それぞれの個性や性格を知る良い機会となりました。最後は増本地区幹事の締めの挨拶をもって、盛大なうちに懇親会は終了した次第です。

次に顔を合わせるのはいよいよ出発日の3月25日(月)となります。ハワイでの活動の様子などについても、後日この月信にてご報告いたします。



会長エレクト及び次期幹事研修セミナー報告

PETS実行委員長 白倉 一男 (諫早北RC)

去る3月17日(日)、L&Lホテルセンリュウにて「会長エレクト・次期幹事研修セミナー」が開催されました。

第2740地区56ロータリークラブ会長エレクト・次期幹事が参加され、千葉憲哉ガバナーエレクトより2019～2020年度RI会長マーク・ダニエル・マローニーさんの紹介、RI方針、次年度地区方針を説明されました。

会長エレクトセミナーは、栗林英雄パストガバナーを講師に「クラブ会長としての心構え」をテーマに講演していただき、次期幹事セミナーは、森栄一郎元地区幹事による「クラブ幹事の役割」をテーマとして講演をいただきました。出席された会長エレクト・次期幹事の皆様は、新元号に代わる記念すべき時期にクラブ運営に当たられます。今日の講演は、そのための一助になったことと思います。

後半は次年度ガバナー補佐のご挨拶、そして、講評は宮崎清彰パストガバナーより「ロータリーを楽しみましょう」とのお言葉をいただき終了しました。

セミナー終了後は、福田ガバナー、千葉エレクトを囲み懇親を深めることができました。

PETS運営に際し、ご協力いただきました福田ガバナー他、地区役員の皆様、スタッフの皆様、また、セミナーに参加されたロータリアンの皆様に深く感謝申し上げます。



第1・第2グループ合同IM開催報告

第2グループ ガバナー補佐 田中 洋介

国際ロータリー第2740地区 第1・第2グループでは、2019年2月24日(日)晴天のなか、佐賀市内のガーデンテラス佐賀 ホテル&マリトピアにて、インターシティ・ミーティングを開催。音成日佐男 第1 G ガバナー補佐(佐賀RC)、田中洋介 第2 G ガバナー補佐(佐賀南RC)の呼びかけのもと、域内10クラブの会員233名が参加しました。福田金治ガバナー、増本一也地区幹事(佐世保RC)、野口清パストガバナー(佐賀RC)、福元裕二パストガバナー(佐賀北RC)、駒井英基直前ガバナー(佐賀南RC)をお迎えし、昨今どのクラブでも頭を悩ませている共通のテーマについて、個別の事情も踏まえ考察を深めました。

今回のテーマは「会員増強・退会防止」。人口オーナス期を迎え、ロータリークラブの運営も高齢化にともなう新しいクラブ運営を迫られており、会員増強(退会防止)の実践のあり方にも各クラブの置かれた環境との格闘が垣間見えます。会員増強(退会防止)は、クラブ運営を映す鏡といっても過言ではありません。

◇2009年7月現在の第1・第2グループの総会員数：348名

◇2019年1月現在の第1・第2グループの総会員数：385名 (※10年間で37名増)

数字で見ると第1・第2グループの総会員数は安定しているように見えますが、この数字は毎期会員の英知を結集して繰り返される各クラブの悪戦苦闘の結果の賜物であることを思い知らされます。主催の田中洋介ガバナー補佐、北島恭一IMアドバイザー(佐賀南RC)は、「退会防止」をクラブ運営の姿勢そのものに直結する命題と捉え(敢えて意図的に)、「会員増強」から分離させて議論を喚起する方向で当日のIM全体をコーディネート。基調

講演も『会員増強について』(演者：駒井英基直前ガバナー)と『退会防止について』(演者：福元裕二パストガバナー)とテーマを分けて拝聴しました。(※基調講演要旨につきましては、第2740地区ホームページにてご確認ください幸いです。)

基調講演終了後、1時間弱の時間を配しシンポジウムを開催。北島恭一IMアドバイザーのコーディネートのもと、パネリストとして大坪恵介会員(佐賀RC)、飯盛康登会員(多久RC)、池田和雄会員(佐賀北RC)、合瀬一男会員(神埼RC)にご登壇いただき、自クラブでの成功事例・現在取り組んでいる課題を中心に具体的にお話いただきました。会場のロータリアンの方々も常日頃、頭を悩ませている問題だけに、パネリスト(コーディネーターの肝煎りで小城RC 七田利秀会員も会場より参戦。)の皆さんの成功事例に耳を傾けていただき、全体として盛況でした。

北島恭一IMアドバイザーは総括として、「明確な目標設定」「強力なリーダーシップ」が成功の秘訣であると位置づけ、会員増強(退会防止)に成功しているクラブの好事例を確実に自クラブに持ち帰っていただくよう促し、福田金治ガバナーの講評を頂戴し、IMを終了しました。

IM終了後の懇親会も、福田金治ガバナー、増本一也地区幹事はじめご来賓の方々にも最後までご参加いただき、180名という多くの会員の皆様と親睦を深めさせていただくことができました。

ご多忙のなか、佐世保よりお越しいただいた福田金治ガバナー、増本一也地区幹事、ご指導いただいた野口清パストガバナー、福元裕二パストガバナー、駒井英基直前ガバナー、そして当日ご登録をいただいた全てのロータリアンの皆様に心より御礼を申し上げます。

ありがとうございました。



第4グループIM開催報告

唐津中央RC 会長 佐々木 義文

2019年3月9日(土) 唐津市にあります「ホテル&リゾート佐賀唐津」において、川添信雄第4Gガバナー補佐のもと、国際ロータリー第2740地区第4グループのIMを開催いたしました。

今回のIMのテーマと基調講演内容等を決めるに当たり、実行委員会の皆さんと協議し、ロータリーの原点とも言える「職業奉仕」について学びたいとの意見が多数を占めたこともあり、講師の先生の人選から始まりました。

諸先輩の意見を聞かせていただく中で、「職業奉仕については、直前ガバナー駒井英基氏を講師としてお招きしたい」旨の意見を受け、駒井英基氏に「職業奉仕」について講演いただきたいとの申し入れを行いましたところ、快諾していただき当日の開催となりました。

基調講演の内容等の打合せをさせていただくなかで、「職業奉仕をもう一度考えてみよう」のタイトルをいただいたこともあり、IMのテーマについても「職業奉仕をもう一度考えてみよう」と決定し、準備から開催へと着手いたしました。

当日は、講師の駒井英基先生はもとより、ご来賓として福田金治ガバナー、隅田達男パストガバナー、増本一也地区幹事、白川十郎直前ガバナー補佐の出席を賜り、グループ外より佐賀南RCから吉岡義治君が出席され、第4グループ119人の出席(登録254人)で開催いたしました。

福田ガバナー、川添ガバナー補佐の挨拶を受け、駒井先生より「職業奉仕をもう一度考えてみよう」をタイトルとして基調講演を行っていただきました。

基調講演については、

- ロータリーとは

- なぜ職業奉仕が基本なのか
- 職業奉仕と社会奉仕の違いについて
- なぜロータリーはI serveと言われているのか
- 4つのテストとは
- 今後ロータリーはどうあるべきか

等々について、ロータリーの始まりから長い時代を経て現在に至るロータリーの変遷と実情を、文献資料等々の情報と私見を含め、わかりやすく丁寧にご講演いただき、多くの出席者が興味深く、熱心に聴講されており、今回のテーマである「職業奉仕(をもう一度考えてみよう)」に対する意識・関心度が高いことが感じられ、「職業奉仕」をテーマとしたIMの開催が良かったものと感じております。

駒井先生の基調講演が終わり、福田ガバナーから「講評」、川添ガバナー補佐より「謝辞」を述べていただいた後は、会場を変え駒井先生、来賓の皆様、出席者の皆様との懇親会へと移行しました。

懇親会会場では、来賓の皆様、出席者の皆様との胸襟を開いての交流もしかることながら、多くの出席者が基調講演に対する質問等々で駒井先生のもとに集まれ、ロータリーに対する「職業奉仕」の重要性が再認識させられた一時でございました。

結びになりますが、ご講演いただきました駒井先生、ご出席いただきました福田ガバナー始め来賓の皆様、出席者の皆様にご場をお借りしお礼を申し上げますとともに、IM開催に關しご協力いただきました唐津中央RCの皆様にお礼を申し上げ、IM開催の報告とさせていただきます。

ありがとうございました。



ガバナーノミニー・デジグネート 決定のお知らせ



2021～2022年度ガバナー候補者の推薦について、2018年12月ガバナー月信（Vol.6）にて、地区内クラブ会長宛に募集通知をいたしました。期限内に推薦の申し出はありませんでした。

従いまして、国際ロータリー細則第14条第2節「ガバナーの指名手続」の定めにより、ガバナー指名委員会に於いて指名されました塚崎寛氏（長崎中央RC）が、2021～2022年度ガバナーに就任する、ガバナーノミニー・デジグネートに選出されたことを公表いたします。

2019年5月1日

国際ロータリー第2740地区
ガバナー 福田 金治

＝ つかさき ひろし 塚崎 寛 氏プロフィール ＝

- ◆生年月日 1954年7月31日
- ◆現 職 医療法人清潮会三和中央病院 理事長
- ◆勤 務 先 〒851-0403 長崎市布巻町165番地1
- ◆職業分類 精神・神経科病院
- ◆経 歴
 - 1982年 金沢医科大学医学部卒業
 - 1985年 医療法人清潮会 塚崎病院入社
 - 1991年 医療法人清潮会 塚崎病院理事長就任
 - 2006年 医療法人清潮会 三和中央病院理事長就任
- ◆ロータリー歴
 - 1990年7月 長崎中央ロータリークラブ入会
 - 1998年～1999年 クラブ幹事
 - 2008年～2009年 クラブ会長
 - 〈ロータリー財団〉
 - ・メジャー・ドナー
 - ・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 - ・ベネファクター
 - 〈米山記念奨学会〉
 - ・米山功労者 メジャードナー
- ◆団体歴
 - 1991年7月～ 日本精神科病院協会会員
 - 1991年7月～ 日本精神科医学会会員
 - 2001年5月～ 長崎地区保護司

逝去会員

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます



岩永 一郎 会員 (大村RC)

逝去日：2019年2月13日 (享年86歳)

入会日：1972年1月20日

勤務先：(有)古原金物 取締役会長

クラブ役職：1977-1978年度 幹事

1985-1986年度 会長

新会員紹介

～2月入会～

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。

佐世保東南RC



おしま けんいち
大島 健一 君
有限会社 空電設備
代表取締役

諫早北RC



さかもと けんた
坂本 健太 君
長崎ワールド警備保障株
警備部長

諫早北RC



いしばし ようこ
石橋 陽子 君
日本生命相互会社

諫早北RC



たけうち たかし
竹内 崇 君
㈱日本旅行
支店長

長崎西RC



たけうち みきや
竹内 幹也 君
東武トップツアーズ株
長崎支店長

長崎南RC



そのだ ゆうぞう
園田 祐三 君
株式会社 龍屋本舗
代表取締役

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証および表彰者リストに
基づき寄付者をご紹介します。ご厚意に深く感謝申し上げます。

◆ロータリー財団 (2月)

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏 名	レベル	クラブ名
松本 英介	2	佐 世 保
山崎 弘	4	平 戸
御厨 善光	1	諫 早 西
千葉まさこ	5	諫 早 南
高木 栄	8	大 村 東
(1月の寄付者)		
嵩下 明伸	2	長 崎

■ポール・ハリス・フェロー

氏 名	クラブ名
上田 康雄	長 崎 北
(1月の寄付者)	
大久保利博	佐 世 保

※月信Vol.10において、1月の寄付者2名の記載が漏れておりました。また、昭成会 岩永医院様(長崎北東)の2件の認証は誤りで、実際は岩永信昭会員個人からの寄付でした。お詫びして訂正いたします。

◆米山記念奨学会 (2月)

■メジャードナー

氏 名	回数	クラブ名
福元 裕二	10	佐 賀 北
宮崎 清彰	31	諫 早 北
小川 春彌	10	長 崎 南

■米山功労者マルチプル

氏 名	回数	クラブ名
川原 強	2	長 崎

■米山功労者

氏 名	クラブ名
山下 克己	福 江
吉田 泰之	福 江
小畑 和男	福 江
竹山 直樹	長 崎 北

第2740地区 2019年2月出席報告

2018年7月1日クラブ数 57 RC
2019年2月平均出席率 84.9 %
2018年7月1日会員数 2,236 名
(うち女性会員 91 名)

2019年2月末日会員数 2,244 名
(うち女性会員 95 名)
2019年2月入会者 5 名
2019年2月退会者 7 名



ロータリーの核心に触れる

riconvention.org/ja

インスピレーション、あふれる興奮、そして成長。最新の情報を学び、ロータリーを動かしている理念や方策の数々を知ることができる国際大会は、ロータリーの核心に触れる機会となります。会場には、ほかでは経験できない熱意とエネルギー、そしてロータリーの生命力があふれています。世界に末永く変化をもたらしたいという願いのもと、ロータリアンであるかどうかを問わず、行動へと一歩踏み出すきっかけとなるでしょう。